

# 葉月愛南文芸

## 篠南川柳会

休店の貼紙コロナの罪深く  
 気休めと思いなからも湿布貼る  
 お疲れさん夜は手がいでシツプ貼る  
 指先は叶わないけど口叶う  
 オーバーに包帯巻いて指かくす  
 指相撲孫の早業打つ手なし  
 隠居して春の長日をもて余す  
 山笑う春もコロナに泣かされる

すみ子  
 保美  
 安子  
 千代子  
 木本  
 ちずる  
 もつちゃん  
 さつき

河上 明美  
 扇野八代生  
 松本マス子  
 前田 昭夫  
 藤井 擴

菊川俳句会  
 送り先決めて育てる西瓜かな  
 野仏の倒れしままに蟬時雨  
 泥塗れ下弦の月の蛩狩り  
 ひき継ぎし先祖の汗の畑の香  
 心臓が張ち切れさうな雨宿り  
 ひろしまき  
 広島忌の君は眼裏の薔薇一本  
 かき氷ハートのかたちの雲一つ  
 翡翠の聲に三途の川の色  
 マリーゴールド君を好きになつた瞬間  
 雨蛙もう降るなよと願い鳴く  
 鰻筒一子相伝仕掛場所

野崎 幸子  
 村尾加都子  
 中川 一喜  
 鶴川 裕子  
 安岡留美子  
 兵頭 嘉寛  
 太嘉  
 海音  
 浅野勇一郎  
 迎恋  
 鈴木 貴  
 和田 靖樹

## はじめまして。赤ちゃん。

6月受付分(敬称略)

地区名	子の名	保護者
-----	-----	-----

さわらび短歌会  
 怖ごと幼の囀む指間より  
 螢火ももる滴のように  
 コロナ禍の季を巣立ちし燕の  
 自在に飛び交うはつ夏の空

岩村千代子  
 水野美代子

前田 充  
 澤近 正弘  
 前田 知子

グランドを湖とみし線状降水帯  
 通過せし空に虹かかりおり  
 裏山のうぐいすの歌が聞こえない  
 今朝は聞きなれぬ鳥が鳴いている  
 二つ三つわが家のレシビ言い添えて  
 友に庭畑のズッキーニ採る  
 駒を指す人工頭脳の先をよむ  
 十七才の藤井七段  
 食堂の80円のラーメンが  
 わが青春の空腹を満たせり  
 それぞれの人に名前のあることを  
 知りて幼が我に名を問う  
 紫陽花の色鮮しき雨の庭  
 雨粒石に弾けて踊る  
 高晶寺に涅槃仏を撮るひとの  
 後姿ガリバーの小人のごとく

## ご冥福をお祈りします。

6月受付分(敬称略)

地区名	亡くなった方	満年齢
-----	--------	-----

※上記情報は、広報紙掲載に対して、ご家族等に同意を頂いております。